

## ミニシンポジウム「ヴィーナスからのメッセージ」

2012年3月から6月まで開催された特別展示『アルケオメトリア-考古遺物と美術工芸品を科学の眼で透かし見る』の関連イベントとして企画されましたが、開催が延期されました。下記要領で開催いたしますので、奮ってご参加下さい。

日時：平成25年1月12日（土） 13：00～17：00

会場：東京大学総合研究博物館 7F ミューズホール

※ 事前予約は必要ありませんが、先着順とさせていただきます。

演題とスケジュール：

13：00～13：05 挨拶、趣旨説明

吉田邦夫（東京大学総合研究博物館）

13：05～13：45 「バイカルシベリアにおける日ロ共同調査から見てきたもの」

鈴木建治（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）

13：45～14：25 「バイカルシベリアのマンモス動物群化石」

佐藤孝雄（慶應義塾大学文学部）

14：25～14：35 休憩

14：35～15：15 「マリタ遺跡の年代と彫像」

吉田邦夫（東京大学総合研究博物館）

15：15～15：55 「埋納されたヴィーナスとバイソン像」

加藤博文（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）

15：55～16：35 「洞窟に描かれたマンモス像」

五十嵐ジャンヌ（東京藝術大学美術研究科リサーチセンター）

16：35～17：00 「質疑応答および討論」

司会：加藤博文

※ 会場には、マリタ遺跡出土ヴィーナス像（レプリカ）、ロシア・イルクーツク近くで発掘されたケサイの頭部骨格、動物化石が展示されます。

※ 18:00 頃から、懇親会を開催します（参加費、会場未定）。

講師との懇談をお楽しみ下さい。積極的にご参加下さい。